

■コメント

1. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり9.57人と、前週とほぼ同程度で推移しています。

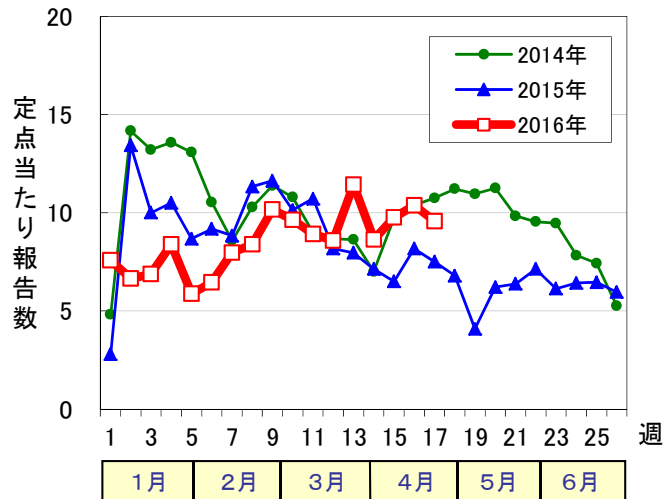
また、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎は19人の報告がありました。多い状況が続いており注意が必要です。(次頁参照)

なお、ロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎の集団発生が、第17週に1件報告されています。感染を広げないようにするには、オムツや吐物の適切な処理、手洗いの徹底などが重要です。

2. インフルエンザ

定点当たり0.94人と減少しましたが、まだ散発的に報告されていますので、引き続き手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

感染性胃腸炎の流行状況(小児科定点)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	34	0.94	2.49	△
	咽頭結膜熱	5	0.22	0.43	△
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	2.43	1.93	△
	感染性胃腸炎	220	9.57	10.12	△
	水痘	6	0.26	0.95	△
	手足口病	2	0.09	0.56	△
	伝染性紅斑	13	0.57	0.11	△
	突発性発しん	16	0.70	0.58	△
	百日咳	-	-	0.08	△
	ヘルパンギーナ	5	0.22	0.07	△
基幹	流行性耳下腺炎	13	0.57	0.58	△
	RSウイルス感染症	8	0.35	0.10	△
	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05	△
	流行性角結膜炎	6	0.75	0.98	△
	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	△
	無菌性髄膜炎	-	-	-	△
	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.29	△
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	△
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	19	2.71	△	△

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	58	男性(30歳代)・1人、男性(80歳代)・1人

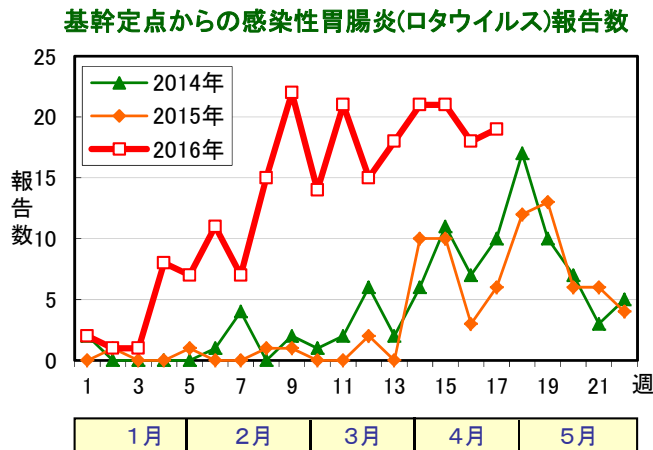
■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺 炎	クラミジ ア肺炎	(ロタウ イルス) 感染性胃 腸炎
報告数	広島市	第13週	242	6	37	274	3	1	16	5	-	1	29	1	-	4	-	-	-	-	18
		第14週	121	3	49	207	18	8	22	11	-	2	21	3	-	3	-	-	1	-	21
		第15週	79	11	45	234	8	-	25	12	-	-	10	3	-	2	-	-	-	-	21
		第16週	61	6	52	249	10	1	25	11	1	5	13	1	-	2	-	-	1	-	18
		第17週	34	5	56	220	6	2	13	16	-	5	13	8	1	6	-	-	1	-	19
定点当 たり	広島市	第13週	6.54	0.25	1.54	11.42	0.13	0.04	0.67	0.21	-	0.04	1.21	0.04	-	0.50	-	-	-	-	2.57
		第14週	3.27	0.13	2.04	8.63	0.75	0.33	0.92	0.46	-	0.08	0.88	0.13	-	0.38	-	-	0.14	-	3.00
		第15週	2.14	0.46	1.88	9.75	0.33	-	1.04	0.50	-	-	0.42	0.13	-	0.25	-	-	-	-	3.00
		第16週	1.65	0.25	2.17	10.38	0.42	0.04	1.04	0.46	0.04	0.21	0.54	0.04	-	0.25	-	-	0.14	-	2.57
		第17週	0.94	0.22	2.43	9.57	0.26	0.09	0.57	0.70	-	0.22	0.57	0.35	0.13	0.75	-	-	0.14	-	2.71
	全国	第15週	5.06	0.27	2.30	5.79	0.30	0.03	0.37	0.48	0.02	0.04	0.82	0.20	0.01	0.55	0.02	0.04	0.31	0.01	0.72
		第16週	4.22	0.35	2.63	6.54	0.35	0.05	0.38	0.56	0.02	0.04	0.74	0.19	0.01	0.64	0.02	0.09	0.36	-	0.63

■新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。

【参考】広島市における基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



ロタウイルスは乳幼児におけるウイルス性胃腸炎の主要な原因であり、感染すると2～4日の潜伏期間の後、下痢や嘔吐、発熱などの症状を引き起こします。例年3月から5月頃に乳幼児を中心にロタウイルスによる感染性胃腸炎の流行が起こります。

市内の基幹定点7か所からの感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の報告数が、今年は1月下旬以降増加し、多い状況が続いています。ロタウイルスは、ノロウイルスに比べると症状が少し重い傾向にあるといわれているため、注意が必要です。集団生活の場では、感染予防対策を特に徹底する必要があります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第17週(4月25日～5月1日)